

助産師出向モデル事業の実施状況報告(福岡地区)

出向元医療機関の分類	病院
出向先医療機関の分類	診療所
出向助産師	①助産師歴 10年、分娩介助経験 80件 ②助産師歴 10年、分娩介助経験 70件 ③助産師歴 10年、分娩介助経験 75件
出向期間	①2週間(令和5年10月10日から令和5年10月25日) ②2週間(令和5年10月26日から令和5年11月10日) ③2週間(令和5年11月13日から令和5年11月24日) ※すべて日勤のみ
出向者の目標	・院内助産開設に向け、管理分娩と正常分娩との違いを知り正常分娩介助の手技を学び技術習得を目指す。 ・産婦が自らの力で出産に臨めるように、妊娠期から行っている支援内容について知り自施設との違いや実施可能な内容について検討する。
主な業務内容	分娩時のケア(分娩期のケア、直接介助)、母乳外来、助産師外来、退院指導、両親教室の見学 ①分娩介助 10件 ②分娩介助 10件 ③分娩介助 10件
気づき・学び	・会陰裂傷を防ぐための会陰保護技術や、側臥位分娩での介助方法、いきませないための産婦や家族への声かけの方法について学んだ。 ・妊娠期から妊婦自身が主体的に出産に臨むための身体的・精神的なモチベーションづくりの必要性を感じた。妊婦や家族自身が「自分で産んだ」という意識を持つことが分娩を進める上で重要で今後の課題。
今後取り組みたいこと	(出向元) 引き続き助産師出向事業に取り組み、院内助産開設に向けた助産師の実践能力向上につなげる。 (出向者) ・会陰保護の方法や、分娩体位の工夫、産婦への声かけなど出向先で学んだ内容についてスタッフに伝える。また、分娩毎にスタッフや医師間でもリフレクションを行い1事例からの学びを最大限に活かしながら出向先での学びの共有を図る。 ・妊娠期からの保健指導をとおして身体的・精神的なモチベーションアップにつながるようにマタニティ外来での指導内容や母親学級・両親学級の内容の検討と再開に向けた準備を進める。
成果	出向助産師の実践能力向上や出向先との連携強化につながった。 院内助産開設に向け、出向者が学んだケアの方法を他の助産師にも伝えることができた。